

別紙

国立大学法人広島大学東広島団地温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

東広島団地

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市鏡山1丁目3番2号

(3) 業種

大学 8161

2 計画の期間

平成22年度（2010年度）を基準年度とし、平成23年度（2011年度）から平成25年度（2013年度）までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 延床面積 m²

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂	0.0987	0.0957 3.0	0.1002 -1.52				
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量	0.0987	0.0957 3.0	0.1002 -1.52				
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	0.03711		0.03509 5.44				
実績に対する自己評価	太陽光発電設備の設置、空調機の高効率型への更新など省エネ推進したが、電力消費に係るCO ₂ 排出係数が変更となり、数値的には前年度比は増加となった。						

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	エネルギー(ガス・重油)消費量の発熱量換算値で、重油は0.2%の増加、ガス消費は10.4%の削減となった。 (共に前年度比)	ガス冷暖房設備の運転管理の徹底 (設定温度・運転時間等)
2	電気使用量の削減	エネルギー(電気)消費量の原油換算値で、前年度比5.5%の削減となった。	太陽光発電設備の導入、空調機及び照明器具の高効率型への更新の実施。 不要電力の徹底した消灯。 空調設定温度の徹底。
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	省エネ推進活動		扇風機2,000台及びうちわ15,000本並びに省エネポスターの配布による省エネ意識高揚と実施対応。
	最大需要電力抑制		夏季及び冬季におけるピークカットトライアルの実施による電力消費抑制。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

- ・古紙回収率50%による100%トイレットペーパー化
- ・可燃ゴミ縮小運動・・・排出ゴミの圧縮廃棄
- ・自然環境の整備の推進